



中国からの富裕層誘客に向けて戦略を練る女性プロジェクトメンバーら＝静岡市駿河区

中国の富裕層誘客狙う

リバティ―女性社員がチーム

旅館向けシステム開発のリバティ―（静岡市駿河区、福原良佐社長）は、中国・上海の訪日専門旅行会社と提携して現地富裕層のインバウンド（訪日旅行者）

獲得事業を始める。民宿など部屋数の少ない「小宿」に特化した同社の集客サポートシステムを生かし、年間売り上げ10億円を目指す。同社がサポートする

全国の小宿は約1200施設。地場の魚を使った料理や特色ある温泉など、各施設の魅力を踏まえた宿泊プランを作成し、現地SNSを活用して情報発信する。実際の誘客につながれば手数料を得る仕組み。

女性社員約30人で組織するプロジェクトチームが新事業を担う。消費のカギを握る女性への訴求力を高めるほか、パート社員ら短時間勤務者もプロジェクトに参画してもらう。

福原社長は「おかみのもてなしや温泉を楽しめる風情など、団体旅行では体験できない『コト消費』を訴求し、中国・富裕層の訪日需要にこえたい」と話している。